

平成29年度事業報告

(自) 平成29年4月 1日
(至) 平成30年3月31日

公益財団法人宮城県母子福祉連合会

平成 29 年度 宮城県母子福祉連合会事業報告書

I 指定管理施設「宮城県母子・父子福祉センター」（以下「センター」という。）の適正な運営

センターの管理運営に関する基本協定書及び年間協定書に基づき、次のとおり適正な運営に努めた。

1 センターの管理運営

(1) 施設の管理運営

ア 職員の資質向上

職員を各種の研修会等へ出席させ、業務遂行のための資質向上に努めた。

- ・公益法人会計セミナー (6 月 28 日)
- ・青少年健全育成研修大会 (8 月 8 日)
- ・公益法人簡易セミナー (9 月 28 日)
- ・宮城県母子・父子自立支援員連絡協議会研修会 (10 月 11 日)
- ・全国母子生活支援施設研究大会 (10 月 12 日、13 日)
- ・自立支援センター職員研修 (11 月 9 日)
- ・年末調整説明会 (11 月 13 日)
- ・求職者支援訓練説明会 (11 月 15 日)
- ・公益・一般法人会計セミナー (11 月 17 日)
- ・みやぎ生協福祉活動助成金説明会 (12 月 6 日)
- ・改正職業安定法説明会 (12 月 8 日)
- ・ポリテクセンター名取実習場見学会 (12 月 21 日)
- ・リスクマネジメントセミナー (1 月 30 日)
- ・県交通安全対策協議会幹事会 (2 月 21 日)
- ・就労促進情報関係者連絡会議 (3 月 11 日)

イ 業務執行体制の改善

適宜会長、副会長会議を開催し県母連の運営等に係る意見交換と情報共有を図った。

ウ 個人情報の適正な取扱い

個人情報に関する書類は、所定の場所に保管、管理するなど個人情報の取り扱いを適正に行った。

エ 平成 28 年度事業に関するモニタリング・評価

指定管理者制度導入施設のモニタリング・評価（平成 28 年度事業分）を行った。宮城県から「協定書に基づき施設の運営及び維持に努めているほか適切に事業を実施している。」との総合評価があった。

オ センターの利用状況

- (ア) 来館 : 2,211 名 (講習会等 902 名、相談 210 名、託児 233 名、その他 866 名)
- (イ) 電話 : 534 名 (生活一般 265 名、児童 21 名、経済的支援 21、その他 227 名)
- (ウ) 日曜電話相談 : 22 名

(2) 相談事業

ア 一般相談件数 [電話、来館] (単位 : 件)

相談内容 \ 相談者	母子家庭	父子家庭	寡婦	計	摘要
生活一般について	153	5	2	160	家庭紛争、就職等
こどもについて	25	2	0	27	養育、就職等
生活援護について	53	2	0	55	福祉資金等
その他	3	0	0	3	母子生活支援施設等
計	234	9	2	245	相談延べ件数

イ 母子父子家庭等電話相談件数
 電話相談員を配置し、各種相談を実施した。 相談件数：47 件(延べ件数)
 なお、事務局職員の研修資料として過去の相談事例集を冊子にとりまとめ共有した。

ウ 母子父子家庭等特別相談件数 [法律相談]
 県事業として弁護士による専門的な相談を、毎月 1 回第 3 木曜日に実施した。

(単位：件)

相談者	母子家庭	父子家庭	寡婦	計	摘要
相談件数	22	0	0	22	離婚に伴う養育費・親権、面会交流等

(3) 利用者サービスの向上

ア 就業支援講習会受講者への配慮

子育て中の母親の受講の便宜を図るため日曜日に就業支援講習会、就業支援セミナーを開講し、希望者には受講時間中の託児サービスを実施した。

イ 日曜日の相談対応 [一般相談、電話相談]

日曜日に開館し、就労、子育て、日常生活上の諸問題について電話及び来館による相談に応じ、助言等を行った。

ウ 就業などに関する情報提供

「本会ホームページ」、「県政だより」、「各市町村だより」等への掲載、有料・無料の広報媒体への掲載及び関係機関へのリーフレットの配布により就業支援講習会、各種相談事業及び求人情報等に関する情報提供を図った。

(4) 利用者の苦情、要望等の把握

ア 苦情等解決体制の整備

苦情解決に関する第三者委員を委嘱し、適切な苦情処理体制を整備した。(平成 29 年度苦情の案件は無)

イ アンケート調査による意見・要望等の把握

就業支援講習会、就業支援セミナー受講者全員にアンケートを実施し、意見・要望等を把握して次年度の講習等に反映させるとともに各地域団体への入会または個人会員としての加入を促した。

(5) 施設の維持管理等

ア 施設・設備の維持管理

センター消防用設備の保守点検、受水槽・高架水槽の清掃、飲料水検査及び定期清掃並びに敷地内の除草、庭木の剪定等を行い施設設備の維持・管理に努めた。なお、県に対し雨漏れ補修に係る要望を行った。

イ 環境配慮

「わが社の e 行動 (eco do!) 宣言」制度の趣旨に則り、節水、節電、ゴミ削減等に努めた。

ウ 施設の補修等

随時センターの内外を目視点検し、水回りを中心に必要な補修を実施した。

(6) 安全対策

ア 施設の安全確認

防火管理者のもとに火元責任者を定め、日常的に火災予防、施設の安全確認を実施した。

イ 機械警備

警備会社にセンターの機械警備を委託し、夜間、休館日における施設の安全確保を図った。年度を通じ特段の異常事態はなかった。

2 母子父子家庭等電話相談事業

(1) 母子父子家庭等電話相談事業

就労している者も利用しやすい日曜日等を相談日とし、電話相談員を配置して相談に応じた。(延べ件数)

相談者 相談内容	母子家庭	父子家庭	寡 婦	計	摘 要
生活一般について	18	0	5	23	就職、家庭紛争等
子どもについて	11	1	0	12	養育、非行等
生活援護について	9	0	3	12	貸付資金
そ の 他	0	0	0	0	
計	38	1	8	47	

3 母子父子家庭等就業・自立支援センター事業

(1) 就業支援事業

①就業相談

各ハローワーク、介護福祉施設及び一般企業等と連携し、相談者及び当自立支援センターの求職登録者に職業紹介・求人 情報の提供を行い、求人企業へ就職斡旋を行った。その結果、就業支援講習会受講者を含め 20 名が就職した。

区 分		母子家庭	父子家庭	寡 婦	計	
相 談 件 数 (延べ件数)		452	11	15	478	
相談者のうち、求職登録した者		48	1	0	49	
就 職	常 勤	8	1	0	9	
	職 種	サービス業 (介護職含む)	5	1	0	6
		事 務	2	0	0	2
		そ の 他	1	0	0	1
実 績	パート・非常勤	11	0	0	11	
	職 種	サービス業 (介護職含む)	8	0	0	8
		事 務	1	0	0	1
		そ の 他	2	0	0	2
	計	1	1	0	20	

※ 就業支援講習会受講者の受講後の就職、転職状況 ((1) ①の内数)

区 分		宮城県事業		仙台市事業		計	
		介護職員	パソコン	介護職員	パソコン		
受 講 者 数		12	19	5	29	65	
受講者中、求職登録者		4	4	1	9	18	
登 録 者 の 就 職 実 績	常 勤	0	0	0	1	1	
	職 種	サービス業 (介護職含む)	0	0	0	0	0
		事 務	0	0	0	1	1
		そ の 他	0	0	0	0	0
就 職 実 績	パート・非常勤	1	0	1	4	6	
	職 種	サービス業(同)	1	0	1	1	3
		事 務	0	0	0	1	1
		そ の 他	0	0	0	2	2
計		1	0	1	5	7	

(2) 就業支援講習会等事業

① 就職・転職支援セミナーの開催

i 開催場所：センター

ア 講 師：有限会社キャリアコム代表取締役 黒田 敬子 氏

イ 内 容：a 企業の求める人材とは b 自分の適性とは c 就職情報集め方 d ビジネスマナー

e 仕事と子育ての両立

ア講 師：東北文化学園大学非常勤講師 畠山 博之 氏 4※,7※を担当

イ内 容：福祉医療現場で求める人材とは！

・開催状況

回数	開催日	参加者数	託児数	回数	開催日	参加者数	託児数
1	4月16日	14	3	6	11月12日	14	5
2	6月7日	7	0	7※	平成30年2月25日	8	5
3	7月23日	8	0				
4※	9月24日	9	3				
5	10月4日	9	0	合 計		69	16

②就業支援講習会の実施

講座名	講習期間	定員/申込者等	受講者	修了者
介護職員初任者研修	4.9~9.24 日曜日 21日間 実習2日	定員 20 申込者 12 県 8,市 4	9 県 6 市 3	6 県 4 市 2
介護職員初任者研修	9.3~H30.2.25 日曜日 21日間 実習2日	定員 20 申込者 9 県 6,市 3	8 県 6 市 2 29年度前期補講生県1 市1	9 県 6 市 3 補講生県1,市1含
小 計		21 県 14, 市 7	17 県 12 市 5	15 県 10 市 5
エクセル2013 (日曜コース)	4.16~7.16 日曜日 14日間	定員 15 申込者 19 県 10 市 9	14 県 9 市 5	11 県 8 市 3 (検定合格 10 県 7 市 3)
ワード2013 (平日コース)	6.7~7.21 水・金曜日 14日間	定員 15 申込者 5 県 2 市 3	5 県 2 市 3	4 県 2 市 2 (検定合格 4)
ワード2013 (日曜コース)	7.23~10.29 日曜日 14日間	定員 15 申込者 10 県 3 市 7	10 県 3 市 7	8 県 3 市 5 (検定合格 8)
エクセル2013 (平日コース)	10.4~11.22 水・金曜日 14日間	定員 15 申込者 10 県 2 市 8	10 県 2 市 8	9 県 2 市 7 (検定合格 9)
エクセル2013 (日曜コース)	11.12~H30.2.25 日曜日 14日間	定員 15 申込者 13 県 6 市 7	9 県 3 市 6	8 県 3 市 5 (検定合格 5 県 1 市 4)
小 計		57 県 23 市 34	48 県 19 市 29	40 県 18 市 22 (検定合格 36)
合 計		78 県 37 市 41	68 県 34 市 34	55 県 28 市 27

※受講者・修了者は前年度からの繰越受講者を含む ※県：仙台市以外、市：仙台市

③託児サービスの実施

講習会及びセミナー受講者の子弟（満3歳以上、小学3年生以下）の託児を行った。

・託児児童数 延べ 233名

(3) 就業情報提供事業

- ① 求職登録者、就業支援講習会修了者に対しハローワーク、県社会福祉協議会及び介護施設等からの求人情報を適宜提供し、本人の意向を確認しながら就業斡旋を行った。
- ② 本会ホームページに講習会・セミナーの開催日程等を掲載し、広報を図った。

II 母子父子家庭等及び寡婦の自立支援

1 仙台市母子家庭等就業支援講習会事業（再掲）

講座名	講習期間	定員／申込者等	受講者	修了者
介護職員初任者研修	4.9~9.24 日曜日 23 日間	定員 5 申込 4	3	2
介護職員初任者研修	9.3~H30.2.25 日曜日 23 日間	定員 5 申込 3	2	3 補講 1 含
小 計		申込 7	補講含 5	補講含 5
エクセル 2013 (日曜コース)	4.16~7.16 日曜日 14 日間	定員 5 申込 9	5	3 (検定合格 3)
ワード 2013 (平日コース)	6.7~7.21 水・金曜日 14 日間	定員 5 申込 3	3	2 (検定合格 2)
ワード 2013 (日曜コース)	7.23~10.29 日曜日 14 日間	定員 5 申込 7	7	5 (検定合格 5)
エクセル 2013 (平日コース)	29.10.4~11.22 水・金曜日 14 日間	定員 5 申込 8	8	7 (検定合格 7)
エクセル 2013 (日曜コース)	11.12~ H30.2.25 日曜日 14 日間	定員 5 申込 7	6	5 (検定合格 4)
小 計		34	29	22 (検定合格 21)
合 計		41	34	27

2 宮城県母子・父子福祉センター事業

パソコン講習受講生の自習のため、希望者に対しパソコン研修室を提供し研修の効果向上を図った。

3 母子部活動の活性化

東北北海道地区母子部長会議への参加及び県母連加盟団体の母子部代表者会議を開催し、情報交換と研修を行った。(9月1日(土)、11月12日(日)、3月18日(日))

III 母子父子家庭等及び寡婦福祉情報の発信

1 ホームページによる情報提供

本会ホームページにより、本会事業及び各地域団体等の情報を随時発信に努めた。なお、ホームページのリニューアルを図りより一層の広報充実を図った。

2 リーフレット等の活用

母子父子家庭等就業・自立支援センターのリーフレットを作成し、就業支援講習会受講者及び県、市町村、ハローワーク、児童館など関係行政機関へ送付し当自立支援センター事業の周知を図った。また調剤薬局へ協力を要請し配置先を拡大した。

3 会報の作成

「県母連だより」(事務局だより)を平成29年11月に1,700部、会報「白百合」を平成30年3月に3,000部発行し、会員及び関係機関等へ配布し宮城県母連の活動を広報した。

IV 地域団体活動の支援

1 母子父子親家庭等子育て支援事業

(1) ひとり親家庭支援事業

以下の活動事業が実施され100名が参加した。当該事業を促進するため本会から経費の一部を補助した。

地域団体名	実施日	参加者	事業内容
女川町ひとり親家庭福祉会	9月16日,17日	大人9名, 子供9名	親子交流事業
仙南地方母子寡婦福祉連合会	8月20日	大人18名, 子供4名	親子日帰り研修
大崎広域母子福祉連合会	10月28日	大人27名, 子供5名	親子日帰り研修
仙台地方母子福祉連合会	11月25日	大人28名	会員研修事業
計		100名(大人82名, 子供18名)	

(2) 招待・贈呈事業

- ① 東北楽天ゴールデンイーグルス観戦招待（コボスタジアム宮城）
東北楽天ゴールデンイーグルス及び株式会社マルテツから提供をいただいた観戦シートを使用し会員を観戦招待した。
（招待団体：有限会社マルテツ 56 試合）招待席数 280 席に対し 265 席(94.6%)の野球観戦を行った。
- ② ふれあいきずな事業
県内のひとり親家庭の小学校進入学児童（平成 30 年 4 月入学）12 名に対し、ランドセルを贈呈した。
（県児童相談所から提供いただいたものも使用した。）（応募者 46 名）
- ③ 本プレゼント事業
子育て、児童の学習、料理等の分野から 5 種類の図書を選定し、各 2 冊ずつ抽選により 10 名へ贈呈した。
（応募者 51 名）
 - i 「科学の実験大図鑑」ロバート・ウインストン （新星出版社）
 - ii 「例解学習国語辞典」第 10 版 ドラえもん版 （小学館）
 - iii 「漫画 君たちはどう生きるか」吉野源三郎生/芳賀翔一 （マガジンハウス）
 - iv 「NHK Eテレ すくすく子育て愛情が伝わる叱り方、ほめ方」(新星出版社)
 - v 「不調・病気知らずの体をつくるおくすりごはん」梅崎和子 （家の光協会）
- ④ 食品配布（お寺おやつクラブ）
お寺おやつクラブから提供された食料品を随時必要と思われ、かつ希望する個人会員に提供した。
- ⑤ 親子日帰り旅行
親子の交流機会を提供するため 7 月 16 日（日）に那須ハイランドパーク日帰り旅行を行った。
応募者多数のため抽選 16 世帯 大人 16 名、子 23 名、計 39 名の参加があった。（応募者 79 名）
- ⑥ ふれあい花山自然キャンプ
国立花山青少年自然の家からの協力要請に基づき、参加者募集及び運営協力を行った。
 - i 11 月 25 日（土）、26 日（日） 10 世帯 大人 10 名、子 14 名 参加
 - II 平成 30 年 1 月 27 日（土）、28 日（日） 12 世帯 大人 12 名、子 20 名 参加
- ⑦ みやぎ婦人会館との共催事業
みやぎ婦人会館の「親子旅物語」事業を共催し、実施に係る広報を行った。

2 広報活動の推進

地域団体の機関紙発行を支援するため、団体に発行経費の一部を補助した。

地域団体名	機 関 誌 名	発行部数
角田市母子福祉会	りんどう（平成 30 年 2 月発行）	130 部

3 研修事業（参加経費の一部補助）

(1) 第 55 回宮城県母子寡婦福祉大会（赤い羽根共同募金から補助を受けて開催）

- ①開催日：9 月 3 日(日)
- ②会 場：名取市名取文化会館中ホール
- ③参加者：約 250 名
- ④内容：表書式、講演、大会宣言、決議

併せて学習法セミナー&教育相談会を開催した。講演会の記録誌を作成し、各地区母子会等へ配布した。
※平成 29 年 10 月 22 日（日） 県大会の一連事業として学習法セミナー&教育相談会の第 2 回目を開催した。
会場 東北学院大学泉キャンパス 内容：中学校レベルの英数国の学習法及び個別教育相談を実施した。
参加者 17 名

(2) 第 60 回東北・北海道地区母子寡婦福祉研修大会

- ① 開催日：9 月 31 日(土)～10 月 1 日(日)

② 会 場：北海道札幌市 シャトレーゼガトーキングダムサッポロ

③参加者： 590名（延べ928名 2日間）

④ 内容：厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課担当官の行政説明

各道県市代表者7名による意見発表と意見交換、講演、大会宣言、決議が行われた。本会から21名参加し経費の一部を補助した。

(3) 平成29年度全国母子寡婦福祉研修大会

①開催日：11月4日(土)～5日(日)

② 会 場：愛知県名古屋市 ウェスティンナゴヤキャッスル

③ 参加者：1,105名

④ 内 容：厚生労働省雇用均等・児童家庭局家庭福祉課母子家庭等自立支援推進官の行政説明。

6地区代表者の発表と研修討議、講演、大会宣言、決議採択。本会から4名参加し経費の一部を補助した。

4 各種要望活動

(1) 宮城県社会福祉協議会を通じたの要望

宮城県社会福祉協議会からの照会に応じて県に対して奨学金の拡充を要望した。

(2) 宮城県知事要望

平成30年1月12日、会長、両副会長により県知事へ要望を行った。(対応：県保健福祉部長)

(3) 仙台市長要望

平成30年1月17日、会長、両副会長により仙台市長へ要望を行った。(対応：市子供未来局長)

V 適正な法人運営

1 経営の充実強化

理事会、評議員会等の各種会議を開催し、当会の適正な運営を図った。

(1) 理事会、評議員会の開催

① 理事会

i 6月1日(木)

- 〈議案〉 ①代表理事、業務執行理事の業務執行状況について
②平成28年度事業報告について
③平成28年度収支決算及び監査報告について
④平成29年度定例評議員会の開催について
⑤役員の改選に係る候補者について

ii 7月8日(土)

- 〈議案〉 ①会長、副会長の選任について

iii 平成30年3月4日(日)

- 〈議案〉 ①代表理事、業務執行理事の業務執行状況について
②平成30年度事業計画について
③平成30年度事業日程について
④平成30年度収支予算について
⑤評議員会の招集について

②評議員会

i 6月16日(金)

- 〈議案〉 ①平成28年度事業報告について
②平成28年度収支決算及び監査報告について
③理事、監事、評議員の選任について

ii 平成30年3月25日(日)

- 〈議案〉 ①平成30年度事業計画について

②平成30年度事業日程について

③平成30年度収支予算について

(2) 監査の実施

・5月24日(水)

〈監査事項〉 ①平成28年度代表理事、業務執行理事の業務執行状況について

②平成28年度事業報告について

③平成28年度収支決算について

【監査結果報告】 収支決算書、貸借対照表、及び正味財産増減計算書並びに諸帳簿類は適法かつ正確である。

(3) 母子部代表者会議の開催

i 11月12日(日)

〈協議事項〉 ①役員の選任について

②母子部事業の検討について

ii 平成30年3月18日(日)

〈協議事項〉 ①母子部運営について

②母子部事業について

③全国母子寡婦指導者研修会報告について

(4) 母子寡婦福祉大会に係る実行委員会及び反省会

i 4月23日(日) 第1回実行委員会

ii 7月30日(日) 第2回実行委員会

※8月18日(金) 会場現地確認

iii 11月12日(日) 反省会

(5) 会長、副会長会議

・会長、副会長会議を随時開催し事業執行の進行管理を図った。(10月8日(日)、12月10日(日)、平成30年2月8日(木))

(6) 予算の効果的、効率的な執行に努めた。

(7) 指定管理業務の自己評価を行った。(再掲)

(8) 個人情報の取り扱いを適正に行った。(再掲)

(9) 職員の研修に努めた。(再掲)

(10) 本会ホームページを随時更新し常に最新の情報を掲載した。また事業啓発リーフレット等により、本会事業の広報を行った。(再掲)

(11) 本会をより広く社会全般にPRするため、シンボルマークなどを封筒等の各種媒体に登載した。また県大会の開催に合わせ、のぼりをさ作成し、宮城母連のPRのため会場内に設置した。なお大会後は母子・父子福祉センターへ1本常時設置している。

(12) 各種飲料自動販売機事業を継続実施した。

・宮城県第2総合運動場内(宮城県スポーツ振興財団)2台、色麻町パークゴルフ場内駐車場1台。

併せて既存自販機の設置先である公益財団法人宮城県スポーツ振興財団及び色麻町農業伝習センターへ設置の継続を要請した外、自販機設置場所の拡大を図るため関係機関への働き掛けや候補場所の調査を行った。